

2013年12月6日

報道関係者各位

No-62105

株式会社 東陽テクニカ

東陽テクニカが販売する脆弱性試験ソフトウェアが 制御システムセキュリティの国際認証規格の公式試験ツールに認定

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区・社長:五味 勝)が販売する、フィンランド Codenomicon社製の脆弱性試験ソフトウェア“Defensics”が、制御システム向けのセキュリティ基準を定める国際的な認証規格(※)の公式な試験ツールと認定されました。

近年、電力やガスなどのプラント設備や重要インフラで使われる制御システムに対するサイバー攻撃の脅威が増大しています。かつては、制御システムはインターネットに接続されておらず、サイバー攻撃を受けないと考えられていましたが、2010年のStuxnet事件(イランの核施設がサイバー攻撃を受けた事件)を機にこの認識は改められ、制御システムセキュリティの重要性が高まっています。外部ネットワークとの接続の機会が増え、WindowsやLinuxといった汎用的なOSが使用されることに従い、サイバー攻撃のリスクは更に大きなものとなっています。

こうした中、プラント設備や重要インフラを所有する企業や組織が、制御システムのセキュリティ標準への準拠を求め始めています。既に米国においては制御システム製品のテストと認証を行う組織がセキュリティの規格を推進しており、今後日本でも制御システムのセキュリティ標準の普及が見込まれています。その動きとして、技術研究組合制御システムセキュリティセンター(CSSC)は、この国際的な認証規格を推進しており、先月26日にサイバー攻撃の安全基準を作る米国研究機関ISCIへの加盟を発表しました。これにより、重要インフラが攻撃を受けても障害を起こさない為の安全基準を米国と統一できることとなります。

この国際認証規格を取得するための評価項目の一つに、通信機能の堅牢性評価があります。この堅牢性を評価する為に「ファジング」という試験技術が用いられます。

この度、“Codenomicon Defensics”が、この項目を評価するための公式試験ツールとして認定されました。制御システムを提供しているベンダは、認証を取得するにあたって必要な堅牢性試験を、“Defensics”を使用することによって効率的に行うことができます。

米国オバマ第1次政権でサイバー・セキュリティ・コーディネーターを務め、現在はCodenomicon社のボードメンバーであるハワード・シュミット氏は、今回の認定について、「これは非常に喜ばしいことです。これを機に、全世界の制御システムがゼロデイ脆弱性(※※)に備えるため、制御システム向けセキュリティの公的認証がより盛んに行われ、高度情報化社会と重要インフラの根幹をなすシステムがより堅牢でセキュアなものになると確信しています。」と述べています。

(※) 制御システム製品のテストと認証の規格化・手続化を行う組織ISCIが定める「EDSA (Embedded Device Security Assurance) 認証」と呼ばれる規格。

(※※) ゼロデイ脆弱性: ソフトウェアやコンピュータの脆弱性のうち、それを修正するパッチ等の対応策がとられる前の状態にあるもの。攻撃に利用され、システム、重要インフラに深刻な被害をもたらすおそれがある。

[製品の特長]

- ・ 制御システムセキュリティ認証用公式試験ツール
EDSA認証取得に必要な試験項目を実施することができます。
- ・ ソフトウェアソリューション
“Defensics”はソフトウェアで提供されます。ライセンス数や使用期間を柔軟に設定することができ、組織内における効率的な運用が可能です。
- ・ 多様なプロトコルに対応
TCP/IPやHTTP、SIP等の数多くのプロトコルをサポートし、様々な製品の試験を行うことができます。ModbusやDNP3等、制御システムで使用されるプロトコルにも順次対応しています。
- ・ ファジングツールとしての実績
機器の脆弱性を検出するための有効な手法として、「ファジング」という技術が注目を集めています。“Defensics”は、ファジングツールとして、多数の脆弱性検出の実績を持っています。

[Codenomicon社について]

フィンランドCodenomicon社は、機器の脆弱性を検出するファジングツール「Defensics」と、セキュリティ情報の収集と解析を行う「AbuseSA」製品を提供しています。同社のファジングツールは、情報通信機器をはじめ、家電、事務機、産業用制御システム、自動車、医療機器等、幅広い分野において、セキュリティテストに使用され、信頼性の高い製品の実現に活用されています。

同社のWebサイトは下記の通りです。

www.codenomicon.com

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和28年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400人を超える全従業員の8割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、www.toyo.co.jpをご覧ください。

Codonomicon社製品に関するお問合せは下記までお願いします。
株式会社東陽テクニカ 情報通信システム営業部 Codonomicon担当
Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail:codonomicon@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。
株式会社東陽テクニカ 経営企画室
Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail:kikaku@toyo.co.jp

- * 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。
- * 記載の商品名、担当部署、WebサイトのURLなどは、本リリース発表時点のものです。

■ “Defensics”使用イメージ（画像データをご希望の方はご連絡ください。）

